

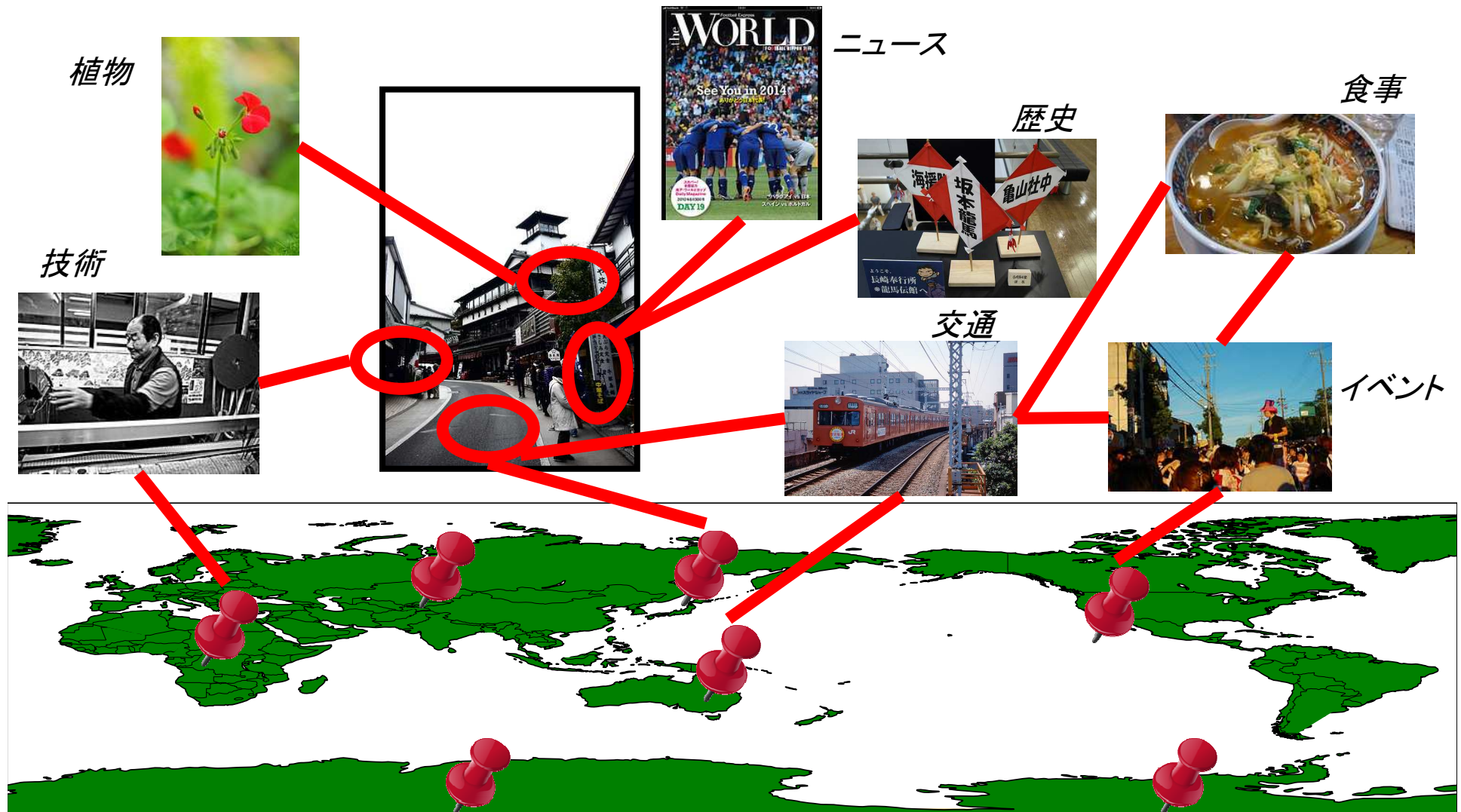
つながる教科書

企画背景

- 学校教育に限らず、勉強で使う教科書・参考書は特定のテーマについて深掘りされ、情報が記載されている
- しかしながら、実社会においてはひとつの教科書の情報だけが必要であることは少なく、例えば国語や英語の知識を持った上で、歴史認識があり、社会の仕組みを理解した上で、理科の要素を踏まえ、商品を買ったり使ったりしている
- 例えば、京都旅行のツアーをインターネットで申し込む場合は、無意識にこれらの情報を踏まえている
- このように教育で得られる知識は本来リンクしているものであり、リンクした状態で学ぶことは実社会に適合した教育に近いといえる
- そこで、より実践的な教育コンテンツを提供する仕組みとして「つながる教科書」を提案する
- なお、この教科書は学校教育だけでなく、生涯教育に、さらには関連するECなどのサービスにも広がるものである

リンク・イメージ

- 地理をベースにして、あらゆる情報をリンクして提供する教科書



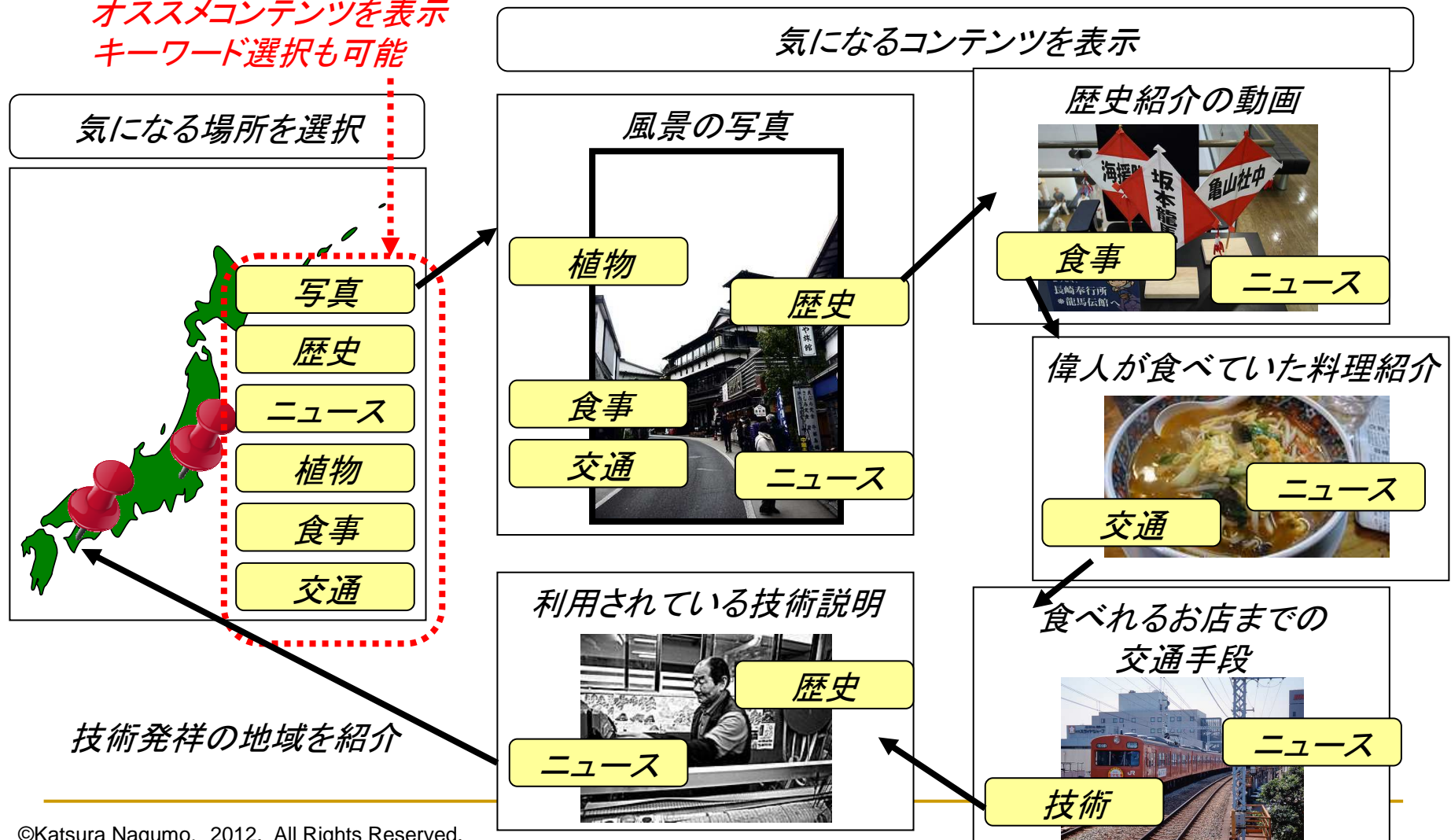
リンク方法

- タグ設定が基本
 - 位置情報や商品名、物品名、植物名などの固有名称をタグとしてリンクを作ることが基本
- ソーシャル・メディアからの情報もリンク
 - ソーシャル・メディア上に流通する情報にもアナリティクスをかけ、関連する情報にタグ付けしてリンクしていく
 - FacebookのOpenGraphのように、ライフログの要素を持つ情報は積極的に利用する
- メタデータ内でも自由にタグ設定
 - メタデータについては、その内容を小分けにしてタグ付けができる登録サービスを用意する
 - 例えば、写真については、以下のようにタグ付けしていく
 - 看板部分 : 店舗名でタグ付け
 - 植物部分 : 植物名でタグ付け
 - 建物部分 : 技術名でタグ付け
 - さらにこのタグ付けはオープンな環境で行うものとし、他のユーザが登録したメタデータに対しても、新たにタグ設定していける仕組みとする

ユーザ利用形態

- 情報をたどるたびに、新しい知識がテキスト、動画、画像、音声、あるいはゲームといった形で紹介される

オススメコンテンツを表示
キーワード選択も可能



サービスイメージ

- 教科書として
 - iPadのアプリケーションとして提供
 - 学校の総合学習の時間に、iPadを通じてこどもたちがバーチャルに冒険をしながら、
知的好奇心を刺激する新しい発見に出会う
- 新しい形のメディア検索サービスとして
 - ひとつの画面から、気になる情報を次々とトレースできる検索サービスの基盤として提供
 - キーワード検索ではなく、メタデータをたどって情報を取得する基盤サービス
 - より直感的に利用できるポータルサイトの検索サービスに利用
- 地域活性の新たなツールとして
 - 地域に関連する情報を統合し、全体のコンテキストをPR媒体とする
 - 地域紹介をする際に、ユーザ側が興味関心のある分野を直感的に探し、知ることができる情報発信の媒体となる
 - また、ECサイトや広告サービスと連動させることで、地域への経済活動流入、地域物産の販売機会の拡大につなげる(地域経済活性への貢献)